

日本経済政策学会ニューズレター

No.27 2013

目次

1. 前会長の退任挨拶
2. 新会長の着任挨拶
3. 役員選挙・選出報告
4. 新学会役員
5. 日本経済政策学会総会議事録
 - 5.1. 本部会務報告
 - 5.2. 各部会報告
 - 5.3. 各委員会報告
 - 5.4. 会員状況
 - 5.5. 2012年度決算書
 - 5.6. 2013年度予算書
 - 5.7. 名譽会員の推薦
 - 5.8. 2012年度以降の全国大会・国際会議
 - 5.9. 2012年度学会賞
6. 本部事務局からのお知らせ
7. 本部・部会事務局連絡先

1. 前会長の退任挨拶

平成 22 年より 3 年間務めさせていただきました会長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

改めて私が会長を拝命する少し前の頃を思い起こしますと、経済政策の視点からの世界経済はすでにそれまでとは全く異なった「様相」を呈しておりました。米国の住宅価格が平成 19 年をピークに下落し始め、サブプライム住宅ローン危機が取り沙汰されておりました。これが引き金となりサブプライムローンに関わる債権が組み込まれた金融商品の信用が大幅に低下し、平成 20 年秋にはリーマン・ブラザーズの倒産により世界同時大不況に日本を含む世界経済は直面することとなりました。一方、日本経済はバブル崩壊以降の超低金利政策にもかかわらずデフレ傾向から脱することのできないという経済政策の立場から見るとなんとも理解しがたい奇妙な状況が続いておりました。

このころの私は一介の研究者としてこの状態を前に、有効かつ適切な経済政策を立案・実行するためにはそれを支えることのできる経済理論が必要であるにもかかわらず、それに応えることのできる精緻な経済理論が存在しないことがこのような問題が引き起こされる一因であると考えておりました。

22 年 5 月末に会長を拝命致して以来しばらくは、学会財政の立て直しなどその運営に専念することが最重要の仕事となっております。すでに前年の 21 年 8 月に民主党政権が発足しておりましたが、この間、国民の大きな期待をよそに何ら先の展望も見えない経済的混迷が見え隠れする状態が続きました。そして翌 23 年 3 月に東日本大震災が東北、北関東を直撃し、大地震に加え福島での原発事故が日本経済を大きく揺るがしました。本部事務局は、学会としてどのように震災からの復興に資することができるのか、具体案の模索と提案に追われる日々となりました。さらに日本の TPP 参加や消費税引き上げをめぐる国を二分しての議論が持ち上がった時期でもありました。この意味では、私が会長を務めさせていただきました 3 年間は日本経済のそして日本の激動期に当たっていたと言っても過言ではないと思います。

これら一連の大変動を目の当たりにし、現在の経済理論の対応範囲をはるかに超える速度で経済環境が変化したのだと強く感じ、それまでの私の経済政策の限界に対する見方の甘さに気づき考え方もおおきく変化いたしました。第一に、いわゆる経済のグローバル化を発端として世界の経済構造が変貌した結果、従来の国境の存在を想定する経済理論に基づく経済政策が機能しない状況が生まれ、第二には経済が生産中心のフローベース経済から投資・投機が主役のストックベース経済へと急速に進んだ結果、主としてフローベースの分析の道具として構築されてきた経済理論が急速にその説明力も妥当性も失われ始めたと感じ、経済政策学が新しい時代に即応し続けるためには強力な新機軸が是非とも必要だと痛感するようになりました。

本年 1 月に戦後の経済政策学の基礎と一時代を確立された加藤寛先生がお亡くなりになりました。日本経済政策学会として東京大学で開催いたしました第 70 回日本経済政策学会全国大会において学会として先生のご足跡とご貢献をふり振り返り、またそれと同時に、今後の経済政策学のあり方について、若い世代の方々のご意見を伺う貴重な機会を得ることができましたことは皆様すでにご承知の通りです。これからはこの若いパワーを軸に、日本経済政策学会を通す研究活動が展開されていくことを心より望みまたおおいに期待を致すところであります。

日本経済の激動期を日本経済政策学会の会長として経験した者として、今後は新会長の中村まづる先生を支え後方から日本経済政策学会の活性化と経済政策学の発展のために微力ではありますが貢献させていただく所存であります。何卒、今後とも引き続き学会へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長職を支えていただきました副会長、部会長、さらには常任理事・幹事の方々、日本経済政策学会の会員の皆様へこころよりお礼申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

前会長 荒山 裕行

2. 新会長の着任挨拶

この度、荒山裕行先生の後任として日本経済政策学会の会長に就任いたしました。本部事務局の引継ぎを終え、設立以来75年に及ぶ長い伝統をもつ学会における、職責の重みを改めて強く感じております。

ところで、昨年末の自民党の政権復帰以降、安倍政権の政策運営が長年にわたるデフレ脱却や経済再生へと繋がるのか、一般の国民にも広く経済政策への関心が高まっています。学会活動にも時代に則した対応が不可欠であり、荒山前会長のもとでは経済政策への影響を与える学会活動を目指した「政策学会運営ワーキング」の報告がまとめられました。今後3年間は、提起された課題への方策を指針とし、その実現に向けた時期にあたります。

日本経済はもとより、学会活動にも国際化、情報化が求められて久しくなります。今年で70回目を迎えた全国大会に加え、国際会議も12回を重ねることになります。この二つを柱に、邦文誌の『政策ジャーナル』、英文誌の *International Journal of Economic Policy Studies (IJEPS)*、若手研究者を奨励する学会賞が制度として整えられてきました。今後、グローバル化と世代交代が進む中、さらなる展開が必要となります。

そこで、学会の情報発信力を高めるため、新たに情報委員会の設置をお認めいただきました。まずは、学会ホームページの更新に着手し、情報システムを活用した効率化を図り財政面の制約を緩和して参る所存です。さらに、会員情報システムとの連携を進め、学会ウェブサイトの機動力を高めて参ります。

何よりも、学会運営の持続的発展を目指して次世代に向け若手研究者にとって魅力な学会となるよう努力をして参る所存ですので、学会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新会長 中村 まづる

3. 役員選挙・選出報告（2013年5月～2016年5月期）

役員選挙告示 2012年9月25日

役員選出投票用紙の送付 2013年1月15日

投票方法 官製葉書返送による無記名投票

選挙事務担当機関 地方選挙管理委員会(各部会事務局に置く)

投票期限 2013年2月15日(当日消印有効)

開票結果

各地方選挙管理委員会による開票の結果、以下の会員が選挙により選出された常務理事として報告された。

(順不同)

部会	当選者氏名(所属)
関東	横山彰(中央大学)、中村まづる(青山学院大学)、千田亮吉(明治大学)、林直嗣(法政大学)、松本保美(早稲田大学)、武田巧(明治大学)、中村文隆(明治大学)
中部	荒山裕行(名古屋大学)、酒井邦雄(愛知学院大学)
関西	田中康秀(神戸大学)、柳川隆(神戸大学)、土井教之(関西学院大学)、清川義友(同志社大学)
西日本	今泉博国(福岡大学)、内山敏典(九州産業大学)

(計 15 名)

選挙によらない常務理事の選出

役員選挙当選者による新常務理事会（2013年4月6日、於・名古屋大学）で、学会運営細則に関する覚書6-1での記載に基づき、残る10名の常務理事が選ばれた。

(順不同)

部会	氏名(所属)
関東	谷口洋志(中央大学)、駒村康平(慶應義塾大学)、川野辺裕幸(東海大学)、松原聡(東洋大学)、前川俊一(明海大学)
中部	小林甲一(名古屋学院大学)
関西	佐竹光彦(同志社大学)、明石芳彦(大阪市立大学)、福重元嗣(大阪大学)
西日本	塚田広人(山口大学)

(計 10 名)

4. 新学会役員 [2013—2015 年度]

学 会 役 員

[50 音順(歴代会長を除く)]

名誉会員・役員

歴代会長

山中篤太郎 (代表 理事)	加藤 寛 (初代 会長)	新野幸次郎 (第二代会長)
藤井 隆 (第三代会長)	柏崎利之助 (第四代会長)	野尻 武敏 (第五代会長)
植草 益 (第六代会長)	横井 弘美 (第七代会長)	横山 彰 (第八代会長)
丸谷 冷史 (第九代会長)	松本 保美 (第十代会長)	荒山 裕行 (第十一代会長)

名誉会員

植草 益	越後 和典	尾上 久雄	小西 唯雄	清水 嘉治
新庄 浩二	杉野 元亮	鈴木多加史	施 昭雄	中村秀一郎
新野幸次郎	西野 萬里	野尻 武敏	野田 稔	野間 俊威
原 豊	藤井 隆	松浦 茂治	眞継 隆	丸尾 直美
丸谷 冷史	横井 弘美	吉田徳三郎		

磯辺 喜一(昭 62 逝去)	板垣 與一(平 15 逝去)	伊東 岱吉(平 8 逝去)
伊東 正則(平 18 逝去)	梅田 政勝(昭 62 逝去)	近江谷幸一(平 17 逝去)
柏崎利之輔(平 22 逝去)	加藤 壽延(平 15 逝去)	気賀 健三(平 13 逝去)
熊谷 尚夫(平 9 逝去)	小島 清(平 21 逝去)	小松 雅雄(平 22 逝去)
佐藤 芳雄(平 10 逝去)	田村 泰夫(平 9 逝去)	藤井 茂(平 12 逝去)
藤田 敬三(昭 60 逝去)	松尾 弘(平 7 逝去)	宮城 辰男(平 15 逝去)
本吉 敬治(平 21 逝去)	加藤 寛(平 25 逝去)	

会 長

中村 まづる

副会長

内山 敏典 酒井 邦雄 千田 亮吉 土井 教之 林 直嗣

地方部会代表

関東部会	松本 保美(早稲田大)
中部部会	小林 甲一(名古屋学院大)
関西部会	柳川 隆(神戸大)
西日本部会	内山 敏典(九州産業大)

常務理事

(50 音順)

[関東部会]

川野辺 裕幸 (東海大学)	駒村 康平 (慶應義塾大学)	武田 巧 (明治大学)
谷口 洋志 (中央大学)	千田 亮吉 (明治大学)	中村 文隆 (明治大学)
中村 まづる (青山学院大学)	林 直嗣 (法政大学)	前川 俊一 (明海大学)
松原 聡 (東洋大学)	松本 保美 (早稲田大学)	横山 彰 (中央大学)

(計 12名)

[中部部会]

荒山 裕行 (名古屋大学)	小林 甲一 (名古屋学院大学)	酒井 邦雄 (愛知学院大学)
---------------	-----------------	----------------

(計 3名)

[関西部会]

明石 芳彦 (大阪市立大学)	清川 義友 (同志社大学)	佐竹 光彦 (同志社大学)
田中 康秀 (神戸大学)	土井 教之 (関西学院大学)	福重 元嗣 (大阪大学)
柳川 隆 (神戸大学)		

(計 7名)

[西日本部会]

今泉 博国 (福岡大学)	内山 敏典 (九州産業大学)	塚田 広人 (山口大学)
--------------	----------------	--------------

(計 3名)

(合計 25名)

会計監事

永合 位行 (神戸大学) 安田 信之助 (城西大学)

委員会

組織委員会

委員長	吉井 昌彦	副委員長	宮本 昌典
事務局長	鳥居 昭夫	事務次長	角本 伸晃
委員	鳥居 昭夫・角本 伸晃・吉井 昌彦・宮本 昌典		

(組織委員会は全国選挙管理委員会を兼ねる)

地方選挙管理委員会

関東部会委員長	鳥居 昭夫	+	委員(部会幹事)
中部部会委員長	角本 伸晃	+	委員(部会幹事)
関西部会委員長	吉井 昌彦	+	委員(部会幹事)
西日本部会委員長	宮本 昌典	+	委員(部会幹事)

出版編集委員会

委員長	千田 亮吉	副委員長	駒村 康平
事務局長	村瀬 英彰	事務次長	飯田 泰之

国際交流委員会

委員長 林 直嗣
事務局長 前田 章

副委員長 飯田 隆雄
事務次長 朴 哲洙

学会運営企画委員会

委員長 酒井 邦雄
事務局長 塚田 広人

副委員長 田中 秀幸
事務次長 村松 幹二

大会プログラム**研究・開発委員会**

委員長 小澤 太郎
事務局長 前田 章

副委員長 内山 敏典
事務次長 角本 伸晃

学会賞選考委員会

委員長 清川 義友

副委員長 今泉 博国

情報委員会

委員長 林 直嗣
事務局長 西川 雅史

副委員長 松本 茂
事務次長 矢尾板 俊平

財政再建ワーキング

(新設：3年間の暫定)

主査 構成員より互選
構成員 土井 教之
構成員 前川 俊一
構成員 小澤 太郎

構成員 川崎 一泰
構成員 千田 亮吉
構成員 福重 元嗣
事務局 西川 雅史

学術機関活動**日本経済学会連合評議員**

田中 康秀

前川 俊一

理事

(50音順)

[関東部会]

安藤 潤 (新潟国際情報大学)
和泉 徹彦 (嘉悦大学)
植村 利男 (亜細亜大学)
小澤 太郎 (慶應義塾大学)
岸 真清 (中央大学)
小柴 徹修 (東北学院大学)
坂井 吉良 (日本大学)
鈴木 伸枝 (駒澤大学)
田中 秀幸 (東京大学)
塚原 康博 (明治大学)
中野 守 (中央大学)
原田 博夫 (専修大学)
洞口 治夫 (法政大学)
益田 安良 (東洋大学)
松本 茂 (青山学院大学)
安田 武彦 (日本大学)

飯田 隆雄 (札幌大学)
井手 秀樹 (慶應義塾大学)
大岩雄次郎 (東京国際大学)
上沼 正明 (早稲田大学)
権丈英子 (亜細亜大学)
駒村 康平 (慶應義塾大学)
佐藤 晴彦 (平成国際大学)
瀬野 隆 (国士舘大学)
田中 廣滋 (中央大学)
鳥飼 行博 (東海大学)
野田 浩二 (東京経済大学)
藤永 修一 (明治大学)
堀 潔 (桜美林大学)
松波 淳也 (法政大学)
村松 幹二 (駒澤大学)
横山 将義 (早稲田大学)

石山 嘉英 (千葉商科大学)
今村 肇 (東洋大学)
岡崎 哲郎 (千葉商科大学)
菊地 均 (北海商科大学)
小崎 敏男 (東海大学)
今野 昌信 (高崎経済大学)
末永 啓一郎 (城西大学)
田中 則仁 (神奈川大学)
玉城 逸彦 (城西大学)
中島 正人 (大東文化大学)
羽田 亨 (関東学園大学)
藤本 訓利 (日本大学)
前川 俊一 (明海大学)
松本 和幸 (立教大学)
森崎 初男 (関東学院大学)

(計 47名)

[中部部会]

足立 文彦 (金城学院大学)	岡 良浩 (四日市大学)	加藤 秀弥 (名古屋経済大学)
木船 久雄 (名古屋学院大学)	竹内 信仁 (愛知学院大学)	土井 康裕 (名古屋大学)
中山 徳良 (名古屋市立大学)	畠平 徹 (岐阜聖徳学園大学)	前田 隆 (金沢大学)
水田 健一 (名古屋学院大学)	水谷 重秋 (南山大学)	山下 隆之 (静岡大学)
吉田 雅彦 (愛知学院大学)	吉田 良生 (椋山女学園大学)	渡辺 俊三 (名城大学)
渡辺 悌爾 (三重大学)		

(計 16名)

[関西部会]

秋岡 弘紀 (関西大学)	上田 良文 (広島大学)	内山 隆夫 (京都学園大学)
神 隆行 (大阪学院大学)	喜田 栄次郎 (岡山商科大学)	北川 雅章 (同志社大学)
衣笠 達夫 (追手門学院大学)	後藤 富士男 (京都産業大学)	金野 和弘 (島根県立大学)
坂西 明子 (奈良県立大学)	佐々木 雅幸 (大阪市立大学)	佐竹 隆幸 (兵庫県立大学)
菅 準一 (尾道市立大学)	宋 仁守 (大阪経済大学)	竹歳 一紀 (桃山学院大学)
竹廣 良司 (同志社大学)	柘植 隆宏 (甲南大学)	寺本 浩昭 (広島修道大学)
豊山 宗洋 (大阪商業大学)	仲上 健一 (立命館大学)	中澤 正彦 (京都大学)
永合 位行 (神戸大学)	南波 浩史 (徳島文理大学)	信吉 史明 (大阪産業大学)
野村 宗訓 (関西学院大学)	林 宰司 (滋賀県立大学)	伴 ひかり (神戸学院大学)
平本 賢了 (広島経済大学)	廣田 俊郎 (関西大学)	福重 元嗣 (大阪大学)
松水 征夫 (広島経済大学)	宮田由紀夫 (関西学院大学)	森川 浩一郎 (近畿大学)
吉井 昌彦 (神戸大学)	渡邊 真治 (大阪府立大学)	

(計 35名)

[西日本部会]

秋山 優 (九州産業大学)	石田 一之 (琉球大学)	市川 芳郎 (日本文理大学)
牛房 義明 (北九州市立大学)	狩野 秀之 (宮崎大学)	衣川 恵 (鹿児島国際大学)
相模 裕一 (西南学院大学)	佐藤 秀樹 (九州産業大学)	仲間 瑞樹 (山口大学)
仁部 新一 (九州共立大学)	朴 哲洙 (熊本学園大学)	本田 廣實 (日本経済大学)
三浦 功 (九州大学)	宮城 和宏 (沖縄国際大学)	宮平 栄治 (名桜大学)
宮本 昌典 (福岡大学)	村田 省三 (長崎大学)	矢野 生子 (長崎県立大学)

(計 18名)

(理事合計 116名)

5. 日本経済政策学会総会議事録

日 時： 2013年5月24日 13:00～13:30

場 所： 東京大学 講堂 900 番教室

大会校 挨拶

第70回大会の開催校を代表して前田章委員長より挨拶があった。

総会議長の選出

総会議長に今泉博国副会長を選出した。

5.1. 本部会務報告

5.1.1. 会員状況 (協議事項 5.4. 会員状況 参照)

5.1.2. 学会ニューズレターNo. 26 の発行

5.1.3. 2012 年度常務理事・幹事会報告

5.1.4. 第11回国際会議報告

- ① 日時 2012年10月20日(土) 10:00～17:40 (懇親会 18:00～20:00)、
10月21日(日) 9:30～16:30
 - ② 会 場 名古屋学院大学 名古屋キャンパス・白鳥学舎 曙館1階 3～5階
翼館4階 クラインホール
 - ③ メインテーマ: The Roles of Economic Policy toward Secure Economic Society: Food, Energy, Environment and Social Welfare
 - ④ 第11回国際会議の概要ならびに提出資料
 - A) カンファレンス参加者総数: 151名 (詳細は以下のとおり)
参加者総数: 151名 外国人 46名 (招待者を含む)
〔うち海外からの参加: 25名, 国内在住: 21名〕
日本人 105名 (招待者を含む)
外国人 (25名) の国別参加者数:
台湾 12名、チェコ 3名、インドネシア 4名、オーストラリア 2名
UAE 1名、韓国 2名、インド 1名
 - B) プログラム: 会員送付用プログラムならびに The Program of the Proceedings with Abstracts を参照
 - C) 第11回国際会議会計収支: 別紙「会計収支報告書」を参照
 - D) その他資料: 会員送付の開催案内, a USB flash drive containing Full Papers, General Information, JEPA2012 venue guide & Room Directory 運営委員会の資料が入った USB メモリ
 - ⑤ 業務報告および反省・意見・感想
- *今回は、名古屋大学と名古屋学院大学のあいだで、大まかに「プログラム委員会事務局

＝名古屋大学：運営委員会＝名古屋学院大学」，つまり「プログラム委員会の事務局業務は名古屋大学が，会場の提供と会場の運営全般の業務は名古屋学院大学が」という業務分担の態勢で臨んだ。①立ち上げの段階，②それぞれで具体的な業務が始まった7月と暫定版プログラム確定の8月末～9月初めの段階，そして③直前の10月中旬の段階とそれぞれの段階で多少の行き違いや混乱はあったが，双方の「寛容と忍耐」で何とか大過なく業務を遂行することができた。（運営委員会の名古屋学院大学としましては，これも，ひとえに名古屋大学でプログラム委員会事務局長を務められた藤川清史先生とそのスタッフによる手際の良い仕事のおかげであったと思います。）今後も，さまざまな要因で，学会組織内の役割分担，業務分担開催や共同開催が進んでいくと思われるが，その実験的な試みとして大きな意味があり，それなりの成果があったと自己評価しておきたい。

（文責 小林甲一）

5.2. 各部会報告

5.2.1. 関東部会 2012 年度部会報告

5.2.1.1. 日本本経済政策学会 関東部会常務理事・幹事会

日時：2013年1月26日(土) 10:00～12:00

場所：早稲田大学本部キャンパス1号館401室

議題

- ① 第11回国際会議業務完了報告。林直嗣氏より報告後、了承。
- ② 第70回全国大会(2013年5月25-26日：於東京大学 駒場)、前田章氏より、進捗状況の報告。
- ③ 関東部会：今後の運営方針
 - A) 研究会(通常研究会、ウェブ研究会)の有機的連携
通常研究会での発表：一定期間ウェブに掲載
ウェブ研究会への投稿：通常研究会で発表・紹介
 - B) 会員への定期的ニュース配信(メール)
2013年3月まで：配信準備
2013年4月以降：定期的配信(2か月に1回程度)
配信内容：全国大会・国際会議の案内、内外の学会の紹介、各種お願いなど
運用体制：会員数名(関東部会システム運用者+部会幹事)
教員公募情報を掲載して欲しい等の要望があった。長期的には考慮すべき要望と思われるので、今後検討したい。
 - C) 常務理事選挙
開票日時：2月25日(月)15:00-17:00
場所：早稲田大学本部キャンパス8号館5階501会議室
部会幹事の方々には、開票業務のお手伝いをお願いいたします。
谷口洋志氏より、開票当日の作業に関し、詳しい説明があった。
 - D) 2015年度全国大会(第72回) 国士舘大学が開催受諾。瀬野隆氏より報告。
 - E) その他：機関理事交代の件：福島久一(日本大学)→藤本訓利(日本大学) (定年退職による)

選挙終了後、日大側で調整を行う(稲葉陽二氏)

F) 出席者からの意見

- ・ 関東部会としての新しい試みに対しては、部会長が役職者(理事・幹事)に仕事を割り当てれば良い。
- ・ 学会発表に関連して
 - ✓ 世上の経済政策論議に積極的に関与し、学会を社会にアピールすべき
 - ✓ 全国大会、ジャーナルなどでは取り上げている。
 - ✓ 発表が形に残るようにすれば、若い人へのインセンティブになる。
 - ✓ 全国大会発表 - 査読 - ジャーナル掲載という流れにはインセンティブがあるのではないか。
 - ✓ なぜ参加者が減少しているのか。
 - ✓ パッケージで論じるのが本学会らしいが、若手は狭い領域で研究しているので難しい。
 - ✓ 財政・金融・マクロの論文が少ない。他の学会に流れているか。
- ・ 国際会議開催引き受け校が見つからない理由
 - ✓ 大学内で賛否が分かれる。
 - ✓ 運営能力がないと考えてしまう。
 - ✓ 特定の人に負担が集中する傾向がある。
- ・ 第70回全国大会に関連した記念行事
 - ✓ 学会の記録を残す必要があり、そのために何かすべきである。
 - ✓ 現会長に相談。
 - ✓ 行くとすれば、新会長体制になってからか。
- ・ 関東部会研究発表会
 - ✓ テーマを定めたいが、発表者が集まらない。
 - ✓ 9月頃にもう一つ研究発表会を入れたい。

5.2.1.2. 2012年度日本経済政策学会関東部会研究会

日時：2013年1月26日(土) 14:00-17:30

場所：早稲田大学本部キャンパス 1号館 401教室

司会(座長)：松本保美(早稲田大学)

① 14:00-14:50

経済成長率の地域間格差の説明要因の研究—都道府県と広域エリアデータのパネル分析を通して—(A Study on Determinants of Regional Growth-rate Difference)

発表者：西一弘(中央大学)

討論者：馬場正弘(敬愛大学)

② 15:10-16:00

Partial Relevant Information and Preference Aggregation

発表者：Dan Qin(早稲田大学)

討論者：釜賀浩平(上智大学)

③ 16:20-17:10

エコカーの普及後の自動車政策について考える：ハイブリッド自動車の走行需要分析

発表者：松本茂(青山学院大学)

討論者：上山邦雄(城西大学)

(文責：松本 保美)

5.2.2. 中部部会 2012 年度部会報告

5.2.2.1. 中部地方大会（施設見学会，研究報告会および会員総会）について

2012 年度は，中部部会として「第 11 回国際会議」を招致し，会場の提供および運営を名古屋学院大学，ならびにプログラム委員会の事務局を名古屋大学という役割分担で共同開催したため，この国際会議をもって中部地方大会とし，改めて中部地方大会を開催しなかった。

5.2.2.2. 常務理事・理事・幹事会

日時：2011 年 8 月 4 日（土） 13:30～15:30

場所：名古屋学院大学 さかえサテライト

議事： ①第 11 回国際会議（名古屋大学・名古屋学院大学）について

②2012 年度中部地方大会の開催校について

③2012 年度決算・2013 年度予算について

なお，部会長に一任されていた 2013 年度中部地方大会の開催校については，その後の調整により，静岡大学〔2013 年 11 月 29 日（金）から 12 月 1 日（日）のあいだの 2 日間〕に決定した。

（文責：小林 甲一）

5.2.3. 関西部会 2012 年度部会報告

5.2.3.1. 関西部会 2012 年度研究大会

日 時：2013 年 3 月 16 日（土） 13:10～16:45

会 場：同志社大学今出川校地寧静館 5 階会議室

運営委員長：清川義友常務理事

今回の研究大会開催にあたっては，清川義友常務理事をはじめ同志社大学の会員等各位に大変お世話になったことに対して，この場を借りてお礼申し上げる次第である。

当日の座長、報告者、報告論題、及び討論者は次の通りである。

座長：田中 康秀（神戸大学）

第 1 報告（13:15～14:00）「独占的競争下の有効需要と coordination failure」

報 告 者：大槻 智彦（広島文化学園大学）

予定討論者：片山 尚平（広島修道大学）

第 2 報告（14:00～14:45）「金融変数から実体経済変数への因果関係分析」

報 告 者：南波 浩史（徳島文理大学）

予定討論者：北川 雅章（同志社大学）

座長：丸谷 冷史（京都産業大学）

第 3 報告（15:10～15:55）「日本におけるガス産業の生産性分析」

報 告 者：木下 信（龍谷大学）

予定討論者：播磨谷浩三（立命館大学）

第 4 報告（15:55～16:40）「ブランド内競争の促進は消費者余剰を改善するのか：国内自動車産業における実証分析」

報 告 者：田中 拓朗*（神戸大学）

予定討論者：土井 教之（関西学院大学）

5.2.3.2. 常務理事・幹事会

日 時：2013年2月23日（土）15:00～16:15

場 所：神戸大学六甲台キャンパス第3学舎中会議室

- 議 事： ①議事録の確認（2012年3月17日）について
②関西西部会の常務理事選挙について
③関西西部会の理事推薦機関について
④関西西部会の次期役員の選出について
⑤関西西部会2012年度研究大会(同志社大学)について
⑥関西西部会研究大会の報告者資格について
⑦関西西部会2013年度研究大会開催校について
⑧関西西部会オンライン・ワーキングペーパーについて
⑨その他（名誉会員推薦の件、学会運営企画委員会の件）

5.2.3.3. 常務理事・理事・幹事会

日 時：2013年3月16日（土）12:00～12:45

場 所：同志社大学今出川校地寧静館5階505教室

- 議 事： ①議事録（2012年3月17日、2013年2月23日）の確認について
②関西西部会の常務理事選挙について
投票者総数36名、投票数115票で、関西西部会からは、田中康秀、柳川隆、土井教之、清川義友（得票順、敬称略）の4名を選出した。なお、清川会員と佐竹光彦会員が同数であったため、選出内規第10条に基づき、選挙管理委員会で抽選を行い、清川会員が選出された。
③関西西部会の理事推薦機関について
④関西西部会の役員選出について
⑤名誉会員の推薦について
丸谷冷史会員を名誉会員に推薦することとした。
⑥2011年度関西西部会会計報告について
⑦その他関西西部会オンライン・ワーキングペーパーについて
⑧2013年度関西西部会研究大会開催校について
日 時：2014年3月15日（土）（予定）
開催校：岡山大学
運営委員長：張星源本部幹事
⑨その他

（文責：柳川 隆）

5.2.4. 西日本部会 2012年度活動報告

5.2.4.1. 第89回大会（春季）

開催日：平成24年4月21日（土）

開催校：九州大学（大会運営委員長：三浦 功）

理事・幹事会および会員総会議題

- (1) 2011年度会計報告
- (2) 第90回大会（秋季）の当番校について
- (3) その他

研究報告

【第一報告】 座長 相模裕一（西南学院大学）

「混合複占市場における医療機関の競争」

報告者 前田隆二（九州大学大学院博士後期課程 指導教員：三浦 功）

討論者 村田省三（長崎大学）

【第二報告】 座長 今泉博国（福岡大学）

「郊外地域における持続可能な経済発展のための代替的空間政策」

報告者 中村大輔（国際東アジア研究センター）

討論者 大野正久（九州大学）

【第三報告】 座長 諸賀加奈（九州大学）

「地方環境税の有効性」

報告者 大野正久（九州大学）・谷 晶紅（佐賀大学）

討論者 本間 聡（九州産業大学）

【第四報告】 座長 山田 誠（鹿児島大学）

「遺産を消費税の課税ベースに含めてもよいか否か—公的年金政策財源としての消費税と遺産税の統合効果—」

報告者 仲間瑞樹（山口大学）

討論者 大住圭介（福岡女子大学）

会員総会

懇親会

5.2.4.2. 第90回大会（秋季）

開催日：2012年10月13日（土）

開催校：山口大学（大会運営委員長：塚田広人）、後援：山口大学経済学部

理事・幹事会および会員総会議題

(1) 第91回大会（春季）の当番校について

(2) その他

研究報告

【第一報告】 座長 相模裕一（西南学院大学）

「事業部門再編（スピノフ・事業譲渡）の企業価値への影響」

報告者 吉田友紀（九州大学大学院博士後期課程 指導教員：三浦 功）

討論者 松浦良行（山口大学）

【第二報告】 座長 諸賀加奈（九州大学）

「現在の国際農業交渉に見るアメリカの戦略」

報告者 外園智史（九州大学）

討論者 狩野秀之（宮崎大学）

【第三報告】 座長 杉野元亮（九州共立大学名誉教授）

「日本統治時代の台湾における教育体制と経済発展—明治期の西洋実学移入教育の経験を視点として—」

報告者 國本康寿（梅光学院大学）・園 弘子（高知工科大学）

討論者 施 昭雄（福岡大学名誉教授）

【第四報告】 座長 宮本昌典（福岡大学）

「産業都市の自治体財政と地域開発政策—新産業都市・工業整備特別地域を中心として—」

報告者 宮野俊明 (九州産業大学)
討論者 菊池裕子 (九州共立大学)

会員総会

(文責:内山 敏典)

5.3. 各委員会報告

5.3.1. 出版編集委員会 2012 年度活動報告

(1) 経済政策ジャーナルの刊行

第9巻2号(学会特集号)学会賞研究奨励賞論文
研究論文6本、共通論題3本、大会記事 平成24年5月25日刊行
第10巻1号(査読論文号)
研究論文2本、特別寄稿1本、書評1本 平成25年4月1日刊行

(2) 編集委員会査読の状況(平成22年4月～平成23年3月まで)

学会特集号(第9巻2号)
投稿総数 9本
掲載可 7本(うち1本は学会賞研究奨励賞として掲載)
掲載不可 2本
査読論文号(第10巻1号)
投稿総数 7本
新規投稿 7本
再投稿 0本
再々投稿 0本
査読結果返却分 3本(残り4本は平成23年3月31日現在査読中)
新規投稿論文 3本
第1次査読結果 A:0本、B:2本、C:1本、D:0本
学会特集号(第10巻2号)
投稿総数 17本
掲載可 12本(うち1本は学会賞研究奨励賞として掲載)
掲載不可 5本

(3) 編集委員会

平成24年5月27日 相山女学園大学

論文の投稿状況

- (1) 書評に関して
- (2) 学会特集号について
- (3) その他

(文責:千田亮吉)

5.3.2. 国際交流委員会 2012 年度活動報告

(1) 国際会議の準備と開催

A) JEPA2012 国際会議

2012 年 1 月	JEPA2012 国際会議 (於名古屋学院大学・名古屋大学) のプログラム委員会の組織編成
2012 年 1 月 31 日	大会 HP の起ち上げ
2012 年 2 月 1 日	Call for Papers の公表と Abstract 募集開始
2012 年 3 月	Abstract 締切を 5 月 31 日から 7 月 14 日に延長 (応募は約 66 件)
7 月 10 日～9 月 30 日	Full Paper 締切を 6 月 30 日から 8 月 14 日に延長 Web での参加登録期間
8 月 15 日～	討論者・座長の依頼と国際会議プログラムの作成
9 月 10 日	プログラム 1 次案の会員への送付
2012 年 10 月 20～21 日	名古屋学院大学において国際会議開催

B) JEPA2013 国際会議

2012 年 7 月	JEPA2013 国際会議を 10 月 26～27 日に札幌大学で開催することをプログラム委員会です承
2012 年 10 月	常務理事会、理事会で札幌大学での開催を了承
2012 年 12 月	JEPA2013 国際会議 (於札幌大学) のプログラム委員会の組織編成
2013 年 1 月 31 日	大会 HP の起ち上げ
2013 年 2 月 1 日	Call for Papers の公表と Abstract 募集開始

(2) IJEPS 編集委員会の編成と活動

A) IJEPS6 号の編集と公刊

2012 年 1 月～3 月	応募 16 本のうち採択 6 本の native 学会員による英語校正
2012 年 3 月～4 月	校正済み 6 本の編集作業
2012 年 5 月	本学会 HP 上にて公刊

B) IJEPS7 号の編集

2012 年 2 月	IJEPS7 号編集委員会の編成
2012 年 2 月～4 月	Submission 受付・締め切り (16 本の応募)
2012 年 3 月～	査読依頼開始
2013 年 3 月	査読依頼・審査完了 (応募 16 本のうち 7 本採択)
2013 年 1 月～3 月	native 学会員による英語校正
2013 年 3 月～4 月	校正済み 7 本の編集作業、査読中 1 本
2013 年 5 月	本学会 HP 上にて公刊予定

(3) IJEPS8 号の編集と公刊

2013 年 2 月	IJEPS8 号編集委員会の編成
2013 年 2 月～3 月	Submission 受付・締め切り (19 本の応募)
2013 年 3 月	査読依頼開始

(文責: 林直嗣)

5.3.3. 学会運営企画委員会 2012年度活動報告

学会活動は必ずしも活性化している状況になく、再活性化を図ることが求められていると言えよう。ある意味「手詰まり」と言ってよいかもしれない状況を打破するために、一つの契機として、全国常務理事・幹事会に活性化の取り組みについて議論（特に大会・国際会議の活性化）を開始することを提案し、何らかの動きを導くことが適切と判断しました。

JEPAの抱えている課題は、すでに議論・整理されているが、一般的に、学会の活性化には、(1)大会・国際会議の活性化、(2)地方部会の活性化、(3)学会誌による論文発表の活性化が求められる。

(1)については、現状ではいろいろ課題を抱えている。そこで、二つの会議の統合・一体化、時期の入れ替え、国際会議の隔年開催など、考えられる。こうした問題の討議を開始する契機をつくるために、全国常務理事・幹事会で統合の可否について議論することを提案する。

(2)については、部会によって事情が異なる可能性があるため、各部会でまず議論してもらおう。

(3)については、雑誌の認知度・評価を高める工夫が必要である。

(文責: 土井教之)

5.3.4. 大会プログラム研究・開発委員会 2012年度活動報告

本委員会は2012年10月19日から2013年4月19日まで、以下の活動をおこないましたのでご報告いたします。

(委員構成)

委員長 内山 敏典 (九州産業大学) 副委員長 前田 章 (東京大学)
事務局長 小澤 太郎 (慶応義塾大学) 事務次長 角本 伸晃 (椙山女学園大学)

(委員会活動内容)

2012年10月19日以前の委員会活動内容は同日開催の「本部常務理事・幹事会」で報告しています。同日以降の活動内容は、現在も進行中のも含め次の二つの内容です。

1. 第70回東京大学大会準備のため、東京大学大会運営委員会とでメールによる打合せ
2. 大会プログラム委員会 [大会プログラム研究・開発委員会委員、今回開催校(東京大学)大会運営委員会委員、前回開催校(椙山女学園大学)大会運営委員会委員、前々回開催校(駒澤大学)大会運営委員会委員(次年度開催校が未定のため)、副会長、各部会長、各部会の一部の常務理事]による文案の最終審議、座長と討論者の選考。会議場:東京大学駒場キャンパス「理想の教育棟(21KOMCEE)」4階402号室(2013年3月9日土曜日)

(第70回全国大会プログラム委員会の内容)

日時:2013年3月9日 午後13:00~18:00

場所:東京大学・駒場キャンパス・理想の教育棟(21KOMCEE)402号室

出席者:(敬称略:あいうえお順)

荒山裕行、内山敏典(プログラム委員会委員長)、小澤太郎、角本伸晃、酒井邦雄、鈴木伸枝、田中秀幸、前田章、村松幹二、矢尾板俊平、柳川隆

(荒山会長の陪席を諮り了解を得た。)

欠席者：(敬称略：あいうえお順)

浅野克巳、飯田泰之、今泉博国、大村達彌、小林甲一、後藤浩、杉野元亮、舘健太郎、田中康秀、林正義、松本保美、森棟公夫、矢坂雅充、矢野浩一、吉田良生

今回委任状を取っていない理由は、大会プログラム研究・開発委員会と東京大学大会運営委員会とから大会プログラム委員会の先生には文案等のメール審議による了承をいただいていること、実務的な議題であること、次年度(第71回)大会テーマはまだ時間があること、が理由である。上記の出席者による大会プログラム委員会の決定は有効であることを確認し議題に入った。

議題

1. 進捗状況と大会プログラム原案について

2012年10月19日名古屋大学で開催の本部常務理事・幹事会で大会プログラム文案等を東京大学の前田章先生より報告していただいた。大会プログラム文案等は東京大学運営委員会の先生方には1年前から積み上げ方式で、すでに大会プログラム委員会の先生方にご意見を賜り、その都度修正がなされてきたものである。

- ・ 進捗状況について、東京大学の大会運営委員会委員長の前田先生から説明がなされた。

(1) 運営方法

- ① 加藤寛先生の追悼セッション
- ② 共通論題・特別論題・ラウンドテーブルそれぞれのセッションの設定
- ③ 大会ホームページの活用

(2) 研究報告申込数 44件(内、企画セッション1件)

共通論題 6件(予定)

加藤寛先生のメモリアルセッション

自由論題 47件(内、4件は企画セッションとして)

2. 自由論題報告の座長、討論者の選定

本日、決定しなかった自由論題報告の座長、討論者の選定は箇所については開催校の前田委員長に一任(大会プログラム委員会委員も協力)

自由論題報告は5月26日(日)にすべて行うこととなった。

3. 加藤寛先生メモリアルセッションについて

この議論の際に、5月25日(土)は、日本経済政策学学会の「過去」、「現在」、「未来」について、

(1) 加藤寛先生メモリアルセッション(過去)

小澤太郎先生に企画依頼

(2) 共通論題『経済政策に関する信頼性』(現在)

東京大学・須藤修先生「データ・インテンシブな科学はいかに経済政策に貢献できるか」(仮題)

神戸大学・柳川隆先生「リスク耐性を持ち持続可能な経済制度のための政策要件」(仮題)

早稲田大学・鈴木興太郎先生「財政政策・経済運営での世代間衡平性の視点」(仮題)

司会：大会プログラム研究・開発委員会委員長が担当

- (3) ラウンドテーブル『学会全国大会の従心とこれから』（未来）
新進気鋭の研究者 6 名で構成（男女それぞれ 3 名）

4. 会長講演

日本経済政策学会会長 荒山裕行先生講演
2 回に分けて行うこととなった。（詳細は大会プログラム完成後）

5. 企画セッション

自由論題 47 件（内、4 件は企画セッションとして）

なお、大会プログラム研究・開発委員会の予算では交通費（本学会規定）の支出を賄えないため、前年度と同様、大会運営委員会予算とのプール予算とした。大会プログラム研究・開発委員会の予算の領収書は第 70 回全国大会プログラム委員会の旅費補助として、大会運営委員長の前田章先生から発行していただいた。後日、大会プログラム研究・開発委員会委員長名で本部事務局に郵便書留でお送りいたしました。

（文責：内山 敏典）

5.3.5. 政策学会運営ワーキング 2012 年度活動報告

平成 25 年 5 月の全国大会で新しい会長が選出され、新執行部の下で学会が運営されます。政策学会運営ワーキングは荒山会長の下で暫定的に設立され、いくつかの問題を検討してきました。多くの問題はまだ検討中ですが、それらの問題は他の委員会の議題と重複するものも多く、それらの委員会で今後も検討することが適切であり、とりあえず政策学会運営ワーキングを終了することになりました。一方、今後学会本部および部会ホームページの充実、会員情報の適切な管理、学会報告内容のレベルアップのために、情報委員会をつくるべきであるとの強い意見があり、設立することになりました。そこで、政策学会運営ワーキングの総括をし、以下のような提案をしたいと思います。委員各位のご意見を参考にし、最終案を提案するつもりですので、ご意見をお願いします。

(1) 学会の情報発信について

情報委員会が設立され、そこで議論される予定です。

(2) 国際学会の開催について

- A) 国際学会の開催を従来通り年 1 回とし、開催時期に関して、9 月開催に方が良いとの意見もあるが、当面従来通り 10 月あるいは 11 月とする。
- B) 大会校の決定に関し、日本語による大会と同様に、開催地域を前もって決め、そこから希望校を選ぶ。また、今回の名古屋開催の国際大会と同様な形式の複数校での開催も可能である。
- C) ポスターセッションに関しては、大学院生に限り、報告希望締切日を大会 2 ヶ月前ほどにし、時間枠を設定し、試行的におこなう。
- D) 報告内容の質を上げるため、部会段階の報告(たとえば、オンラインワーキングペーパー)をレベルアップし、それを基に全国大会の報告をおこなう。ただし、オンラインワーキングペーパーの運営に関しては、部会の責任でおこなう。
- E) 海外の学会との提携、海外の大学に勤務している留学生の学会への参加・勧誘を進める。

(3) 学会活性化のために

- A) 国内大会および国際大会両方で、若手研究者主催のセッションを設ける。
- B) 自由論題に関し、報告希望者だけのテーマで大会プログラムを形成するだけでなく、その年度に重要と思われる複数の研究分野を決め、その分野のセッションを設け、そこから報告者、報告テーマを決める。
- C) 全国大会参加者名簿をホームページに掲載する。

(文責：酒井 邦雄)

協議事項

5.4. 会員状況

2013年5月25日現在

		A	B	C	D	E	計
		関東	中部	関西	西日本	海外・その他	
前年度	個人会員	522	131	304	112	15	1084
	団体会員	2	0	0	0	0	2
	賛助会員	1	0	1	1	0	3
	計	525	131	305	113	15	1089
現会員	個人会員	490	125	285	109	15	1024
	団体会員	2	0	0	0	0	2
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	492	125	285	109	15	1026
新会員	個人会員	18	1	7	2	0	28
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	18	1	7	2	0	28
復活会員	個人会員	0	0	1	0	0	1
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	1
総計		510	126	293	111	15	1055

会員異動

① 訃報

- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1 加藤 寛 | 嘉悦大学 | 2 毛馬内 勇士 | 明治大学 |
| 3 吉町 昭彦 | 同志社大学 | 4 豊田 光雄 | 関西国際大学 |
| 5 樹下 明 | 千葉商科大学 | | (以上 5名) |

② 退会者 *は学生会員

- | | | | |
|-----------|----------------|---------------|-------------------|
| 1 青木 英一 | 敬愛大学 | 2 稲場 紀久雄 | 大阪経済大学 |
| 3 浦上 博遠 | 城西大学 | 4 大石 雄爾 | 駒澤大学 |
| 5 大橋 迪男 | 和歌山大学 | 6 片山 邦雄 | 大阪学院大学 |
| 7 小西 一彦 | 追手門学院大学 | 8 関 秀夫 | 流通科学大学 |
| 9 外間 安益 | 鹿児島国際大学 | 10 高田 亮爾 | 流通科学大学 |
| 11 東郷 久 | 大阪経済法科大学 | 12 徳重 昌志 | 中央大学 |
| 13 仁平 耕一 | 敬愛大学 | 14 萩尾 千里 | (株)大阪国際会議場 |
| 15 長谷川 啓之 | 日本大学 | 16 早川 廣中 | (財)白虎隊記念館 |
| 17 藤岡 秀英 | 神戸大学 | 18 森岡 仁 | なし |
| 19 森島 覚 | 追手門学院大学 | 20 若井 貴視 | 南山大学 |
| 21 渡辺 幸男 | 慶應義塾大学 | 22 三田 義之 | 流通科学大学 |
| 23 関 哲雄 | 立正大学 | 24 田尻 慎太郎 | 嘉悦大学 |
| 25 坂井 秀吉 | 新潟県立大学 | 26 福永 吉徳 | 中村学園大学 |
| 27 焼山 和憲 | 福岡大学 | 28 和田 尚久 | 東洋大学 |
| 29 多部田 直樹 | 国土館大学 | 30 酒井 泰弘 | 滋賀大学 |
| 31 藤川 清史 | 名古屋大学 | 32 誉 清輝 | 城西大学 |
| 33 梅本 昌浩 | 榊菱和 | 34 大月 弘行 | (株)DNP ファシリテイサービス |
| 35 阪口 健治 | 鹿児島地域経済研究所 | 36 落合 重政 | 兵庫県立大学 大学院* |
| 37 栗山 規矩 | なし | 38 木下(本村) 裕美子 | 東京大学 |
| 39 廣野 博和 | オリオン書房 | 40 持田 亮 | 宇美町役場 |
| 41 大島 誠 | 徳島大学 | 42 石田 良 | 財務総合政策研究所 |
| 43 小川 雅人 | 福井県立大学 | 44 宮 三康 | 札幌大学 |
| 45 井上 邦雄 | 名古屋経済大学短期大学部 | 46 北條 勇作 | 高崎経済大学 |
| 47 上野 紘 | 奈良県立大学 | 48 廣松 毅 | 情報キャリア大学院大学 |
| 49 馬男木 三生 | 日本文理大学 | 50 浅野 克巳 | 駒澤大学 |
| 51 鈴木 章文 | 三重県庁 | 52 吉田 義宏 | 広島経済大学 |
| 53 小黒 一正 | 一橋大学 | 54 小谷 崇 | (財)政治経済研究所 |
| 55 鎌田 健司 | 国立社会保障・人口問題研究所 | 56 堀口 健司 | 早稲田大学 |
- (以上 56名)

③ 自然退会

なし

④ 復活会員

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 中野 あい | 神戸大学 | (以上 1名) |
|---------|------|---------|

⑤ 所属・部会・変更・訂正 (50音順) その1

	名前	旧所属	新所属	旧	新部会
あ	石田 幸男	杉並区役所	→ 明治大学 大学院*		→ A
	飯田 泰之	駒沢大学	→ 明治大学		A
	伊勢 公人	中央大学	→ (社) 海外電力調査会		→ A
	一圓 光彌	関西大学	→ なし		→ C
	伊藤 昭浩	東洋大学	→ 名古屋学院大学	A	→ B
	伊藤 健宏	石巻専修大学	→ 岩手県立大学		→ A
	江良 亮	山形県立産業技術短期大学校	→ 実践女子大学		→ A
	大野 太郎	尾道大学	→ 尾道市立大学		→ C
	大平 佳男	法政大学 大学院*	→ 福島大学うつくしま ふくしま未来支援センター		→ A
	大村 達彌	慶應義塾大学	→ 横浜商科大学		→ A
か	越智 弘雄	内閣府	→ (社)日本プロフェッショナル産業協議会		→ A
	釜賀 浩平	早稲田大学	→ 上智大学		→ A
	川崎 一泰	東海大学	→ 東洋大学		→ A
	菊池 威	亜細亜大学	→ なし		→ A
	喜田 栄次郎	岡山商科大学	→ なし		→ C
	木村 啓二	立命館大学 *	→ (公財) 自然エネルギー財団	C	→ A
	倉田 知秋	立教大学	→ 立教大学社会情報教育研究センター		→ A
	小林 庸平	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	→ 経済産業研究所		→ A
	小松 憲治	日本大学	→ 千葉大学		→ A
	さ	穴倉 学	総務省自治財政局財務調査課	→ 長崎大学	A
柴田 有祐		武蔵野学院大学	→ 明治大学		→ A
澁田 英敏		近畿大学九州短大	→ 九州大学 大学院*		→ D
杉田 伸樹		名古屋大学	→ 国土交通省	B	→ A
鈴木 俊光		中央大学	→ 内閣府経済社会総合研究所		→ A
た		高松 慶裕	早稲田大学	→ 静岡大学	A
	田口 順等	大阪府立大学	→ 沖縄国際大学	C	→ D
	田村 正文	東京農業大学 生物資源開発研究所	→ 八戸大学		→ A
	手塚 広一郎	福井大学	→ 日本大学	B	→ A
	鳥居 昭夫	横浜国立大学	→ 中央大学		→ A
	な	長原 徹	宮崎産業経営大学	→ 芝浦工業大学	D
中村 大輔		国際東アジア研究センター	→ 福岡女子大学		→ D
長屋 真季子		京都大学 大学院 *	→ 昭和女子大学	C	→ A
西川 雅史		埼玉大学	→ 青山学院大学		→ A
西澤 隆		野村証券金融経済研究所	→ 野村アグリ・ランニング &アト・ハ・イノベーション		→ A
野崎 華世		大阪商業大学 JGSS 研究センター	→ 慶應義塾大学 パナソニック設計・解析センター	C	→ A
野田 浩二	武蔵野大学	→ 東京経済大学		→ A	
野呂 拓生	東北活性化研究センター	→ 青森公立大学		→ A	

⑥ 所属・部会・変更・訂正 (50音順) その2

は	白 鳳翔	日本アジア証券㈱	→	浜銀総合研究所		→	A
	箱木 眞澄	広島経済大学	→	東北大学	C	→	A
	花田 真一	東京大学	→	金沢星稜大学	A	→	B
	日隈 信夫	早稲田大学 大学院*	→	東京福祉大学		→	A
	福田 慎	明治大学	→	福島大学		→	A
	舟島 義人	青山学院大学 *	→	青山学院大学		→	A
	古川 克	埼玉県立上尾橘高等学校	→	埼玉県立 和光国際高等学校		→	A
	本田 圭市郎	大阪大学 大学院 *	→	熊本県立大学	C	→	D
ま	前 俊雄	㈱鳥取県産業振興機構	→	兵庫県立大学 大学院 *		→	C
	松野 由希	東洋大学	→	(財)運輸調査局		→	A
	松本 源太郎	札幌大学	→	札幌大学 女子短期大学部		→	A
	水野 英雄	愛知教育大学	→	相山女学園大学		→	B
	水野 雄一郎	南山大学 大学院 *	→	なし		→	B
	三井 逸友	横浜国立大学	→	嘉悦大学		→	A
	三谷 直紀	神戸大学	→	岡山商科大学		→	C
	皆川 正	名古屋大学	→	東海学園大学		→	B
	宮崎 智視	東洋大学	→	神戸大学	A	→	C
	宮下 國生	大阪産業大学	→	関西外語大学		→	C
	宮下 量久	㈱PHP 総合研究所	→	(株)PHP 研究所		→	A
	村上 慎司	立命館大学	→	(公財) 医療科学研究所	C	→	A
	村瀬 英彰	名古屋市立大学	→	学習院大学	B	→	A
	村田 慶	九州大学	→	静岡大学	D	→	B
	森岡 仁	駒澤大学	→	なし		→	A
	森脇 祥太	拓殖大学	→	大阪市立大学	A	→	C
や	矢口 裕一	名古屋大学*	→	慶応大学*	B	→	A
	山下 東子	明海大学	→	大東文化大学		→	A
	山田 誠	鹿児島大学	→	なし		→	D
	湯之上 英雄	千葉商科大学	→	兵庫県立大学	A	→	C
わ	渡辺 潤爾	名古屋学院大学	→	鈴鹿高等専門学校		→	B

⑦ 平成 24 年度新会員

名前	所属	推薦者	部会
蟹澤 啓輔	明治大学*	福宮 賢一/千田 亮吉	A
荘 発盛	尚美学園大学	丸尾 直美/角本 伸晃	A
小島 泰友	東京農大	館 健太郎/洞口 治夫	A
鈴木 章浩	早稲田大学*	村上 由紀子/牛丸 聡	A
吉田 友紀	九州大学*	大住 圭介/三浦 功	D
佐々木 俊一郎	近畿大学	森川 浩一郎/小澤 太郎	C
藤本 典嗣	福島大学	荒山 裕行/小柴 徹修	A
本間 雅美	札幌大学	松本 源太郎/飯田 隆雄	A
寺村 絵理子	国際短期大学/お茶ノ水大学	永瀬 伸子/松浦 司	A
VU Thi Bich Lien	名古屋大学*	荒山 裕行/土井 康裕	B
皿谷 麻子	大阪市立大学*	明石 芳彦/佐々木 雅幸	C
程 天敏	中央大学*	田中 廣滋/神山 和美	A
連 宜萍	麗澤大学	永井 四郎/松本 保美	A
久保 さな子	立教大学*	藤田 輔/松本 和幸	A
戸塚 裕介	立教大学*	藤田 輔/松本 和幸	A
大場 智子	文教大学	小淵 洋一/庭田 文近	A
伊藤 敏安	広島大学	松水 征夫/上田 良文	C
田中 規子	お茶の水女子大学	野崎 華世/萩原 里紗	A
川上 敏和	同志社大学	和田 美憲/東 良彰	C
野村 良一	東海大学	小崎 敏男/川野辺裕幸	A
福間 比呂志	熊本学園大学*	細江 守紀/佐藤 秀樹	D
田中 拓朗	神戸大学 大学院*	柳川 隆/田中 康秀	C
生田 祐介	神戸大学 大学院*	柳川 隆/田中 康秀	C
胡 青	神戸大学 大学院*	柳川 隆/田中 康秀	C
布田 功治	東海大学	小崎 敏男/川野辺裕幸	A
石島 博	中央大学	前田 章/長屋 真季子	A
土肥原 洋	亜細亜大学	白井 邦彦/植村 利男	A
竹下 諒	明治大学 大学院*	福宮 賢一/千田 亮吉	A

(以上 28 名)

5.5. 2012年度決算書の件

5.5.1. 日本経済政策学会 2012年度決算報告書（2012年4月1日 - 2013年3月31日）

収入			支出		
摘要	2012年度予算	2012年度決算	摘要	2012年度予算	2012年度決算
前年度繰越金	4,488,365	4,488,365	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金	2,000,000	2,000,000	国際会議費	1,500,000	1,500,000
新規事業積立金	0	0	部会費	540,000	540,000
予備費	2,488,365	2,488,365	関東部会	150,000	150,000
会費	9,050,000	10,188,425	中部部会	120,000	120,000
個人	9,000,000	10,088,425	関西部会	150,000	150,000
団体	0	100,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	50,000	0	委員会費	320,000	320,000
利息等	2,000	683	組織委員会	0	0
第09回全国大会剰余金	0	596,646	国際交流委員会	50,000	50,000
第11回国際会議剰余金	0	62,488	出版編集委員会	120,000	120,000
大学からの補助金	0	0	企画委員会	100,000	100,000
過年度雑収入	0	0	プログラム委員会	50,000	50,000
			研究開発委員会	0	0
			学会誌刊行費(9-2)	1,750,000	1,880,230
			学会誌刊行費(10-1)	1,750,000	-
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	2,500,000	1,194,422
			事務諸費	1,000,000	570,139
			印刷費	300,000	155,400
			通信費	250,000	236,670
			会議費	800,000	27,720
			学会賞賛費	150,000	54,493
			その他(IJEPS校正料・国際会議講演謝金)	0	150,000
			名簿・選挙積立金(2012年度分)	600,000	600,000
			名簿・選挙積立金(2011年度分)組入	600,000	600,000
			国際会議剰余金(2011年度分)組入	288,048	288,048
			小計	11,983,048	9,037,700
			次年度繰越金	1,577,317	6,298,907
			学会誌回転基金	0	0
			新規事業積立金	0	0
			予備費	1,577,317	6,298,907
総計	13,540,365	15,336,607	総計	13,540,365	15,336,607

2013年度繰越未払残高は、下記4つの預貯金口座の2013年3月31日時点残高の合計と一致しております。

SMBC一般会計口座	884,027
SMBC学会入金用口座	16
郵貯学会普通口座	3,516,884
郵貯定期口座	2,098,000
合計	6,298,907

繰越金と口座残高

決算書次年度繰越金	6,298,907
2013年3月31日預金口座残高	6,298,907

上記相違ないことを確認いたしました。

2013年4月20日

会計監事 前川俊一
永合位行

5.5.2. 国際会議 2012年度決算報告書

収入		支出	
2011年度繰越金	520,801	国際会議費	1,500,000
2011年度余剰金	268,048	2012年度繰越金	788,949
一般会計より入金	1,500,000		
利息	100		
合計	2,288,949		2,288,949

繰越金と口座残高

決算報告書次年度繰越金	788,949
SMBC国際会議基金用口座残高	788,949

上記相違ないことを確認いたしました。

2013年4月20日

会計監事 前川俊一

永合位行

5.5.3. 選挙名簿積立 2012年度決算報告書

収入		支出	
2011年度繰越金	2,500	常務理事選挙関連費用	226,738
2011年度分名簿選挙積立金	600,000	2012年度繰越金	975,873
2012年度分名簿選挙積立金	600,000		
利息	111		
合計	1,202,611		1,202,611

繰越金と口座残高

決算報告書次年度繰越金	975,873
SMBC選挙名簿積立基金用口座	975,873

上記相違ないことを確認いたしました。

2013年4月20日

会計監事 前川俊一

永合位行

5. 6. 2013 年度予算書の件

5. 6. 1. 日本経済政策学会 2013 年度予算案 (2013 年 4 月 1 日 - 2014 年 3 月 31 日)

収入			支出		
摘要	2012年度決算	2013年度予算	摘要	2012年度決算	2013年度予算
前年度繰越金	4,488,365	6,298,907	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金	2,000,000	0	国際会議費	1,500,000	1,500,000
新規事業積立金	0	0	部会費	540,000	540,000
予備費	2,488,365	6,298,907	関東部会	150,000	150,000
会費	10,188,425	10,100,000	中部部会	120,000	120,000
個人	10,088,425	10,000,000	関西部会	150,000	150,000
団体	100,000	100,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	0	0	委員会費	320,000	420,000
利息等	683	1,000	組織委員会	0	50,000
雑収入(剰余金等)	659,134	0	国際交流委員会	50,000	50,000
大学からの補助金	0	0	出版編集委員会	120,000	120,000
過年度雑収入	0	0	企画委員会	100,000	100,000
			プログラム委員会	50,000	50,000
			研究開発委員会	0	50,000
			学会誌刊行費(9-2)	1,880,230	-
			学会誌刊行費(10-1)	-	1,750,000
			学会誌刊行費(10-2)	-	1,750,000
			学会誌刊行費(11-1)	-	1,750,000
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	1,194,422	3,000,000
			事務諸費	570,139	1,500,000
			印刷費	155,400	300,000
			通信費	236,670	250,000
			会議費	27,720	800,000
			学会賞諸費	54,493	150,000
			その他(IJEPS校正料・国際会議講演謝金)	150,000	-
			名簿・選挙積立金(2012年度分)	600,000	-
			名簿・選挙積立金(2011年度分)組入	600,000	-
			名簿・選挙積立金(2013年度分)	-	600,000
			国際会議剰余金(2011年度分)組入	288,048	-
			国際会議剰余金(2012年度分)組入	-	62,488
			小計	9,037,700	13,507,488
			次年度繰越金	6,298,907	2,892,419
			学会誌回転基金	0	0
			新規事業積立金	0	0
			予備費	6,298,907	2,892,419
総計	15,336,607	16,399,907	総計	15,336,607	16,399,907

5. 6. 2. 国際会議 2013 年度予算案

収入		支出	
2012年度繰越金	788,949	国際会議費	1,500,000
2012年度剰余金	62,488	2013年度繰越金	851,437
一般会計より入金	1,500,000		
合計	2,351,437	合計	2,351,437

5. 6. 3. 選挙名簿積立 2013 年度予算案

収入		支出	
2012年度繰越金	975,873	会員名簿作成費用	975,873
2013年度選挙名簿積立金	600,000	2013年度繰越金	600,000
合計	1,575,873	合計	1,575,873

5.7. 名誉会員の推薦の件

関西部会 丸谷冷史 先生

丸谷冷史先生は、平成 4～24 年度(7 期 21 年間)に常務理事、うち平成 16～18 年度に会長、平成 10～12 年度副会長を務めた。1943 年生まれ。

西日本部会 杉野元亮 先生

杉野元亮先生は、平成 13～25 年に常務理事、うち平成 16～19 年に副会長、平成 13～22 年に西日本部会代表を務めた。この他、理事、本部幹事、組織委員会委員、選挙管理委員会委員、第 63 回全国大会運営委員長、国際会議実行委員会委員、研究開発委員会委員長、学会賞選考委員会委員長代行、大会プログラム委員会委員などを務めた。1943 年生まれ。

5.8. 2013 年度以降の全国大会・国際会議の件

全国大会 2014 年度 第 71 回全国大会 神戸大学

国際会議 2013 年度 第 12 回国際会議 札幌大学

1) 日程の確定 2013 年 10 月 26 日 (土)、27 日 (日)

2) 会場の調整 札幌大学

3) 懇親会会場 札幌大学

4) プログラム・セッション構成：

メインテーマ：Making Economic Policy "Smart": Rules for Global Sustainability

全体会議のテーマ 1："Smart Regulation for Sustainability"

全体会議のテーマ 2："Policy and Rules to Overcome the Global Financial Crisis"

5) Call-for-papers の作成・公表

6) HP の立ち上げ <http://web.sapporo-u.ac.jp/jepa2013/>

7) 資金：学会本部 (150 万) + 参加費 (懇親会費含む)

<期限以前の早期登録・振込>懇親会に参加する場合 8,000 円 (院生 5,000 円)

懇親会に参加しない場合 5,000 円 (院生 3,000 円)

<期限以降の登録・支払>懇親会に参加する場合 10,000 円 (院生 6,000 円)

懇親会に参加しない場合 6,000 円 (院生 4,000 円)

※ 院生の方は当日の受付の際、学生証 (または在学証明書) をご提示下さい。

8) プログラム委員会・委員長：林直嗣、事務局長：飯田隆雄、運営委員会・委員長：本間雅美、副委員長：千葉隆生

(文責：林 直嗣)

5.9. 2012 年度学会賞の件

選考結果

学術賞：該当なし

奨励賞：村田 慶 (静岡大学)

対象論文「教育選択と内生的経済成長-ゆとり教育による弊害と教育政策の有効性に関する考察-

6. 本部事務局からのお知らせ

●連絡先の変更について

住所、所属機関、またメールアドレス等に変更がありましたら、会費納入用払込用紙の通信欄にその旨を記載していただくか、直接本部事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

●学会費納入のお願い

2013年度学会費につきましてまだご入金がお済みでない方は、ご入金いただけますようよろしくお願い申し上げます。また、2013年度以前の会費につきましても、まだご入金がお済みでない場合は、あわせてご入金いただけますようお願い申し上げます。なお、会費納入状況につきましてのお問い合わせは本部事務局までお願いいたします。

7. 日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先

本部事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学経済学部中村研究室
TEL/FAX: 03-3409-9545
E-mail: jepa-hq@econ.aoyama.ac.jp
Home Page <http://www.jepa-hq.com/indexj.html>

関東部会事務局

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学政治経済学術院 気付 (松本 保美)
Tel/Fax 03-5286-1206 (松本研究室)
E-mail kanto@jepa-hq.com
Home Page <http://www.jepa-hq.com/kantobukai.htm>

中部部会事務局

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25
名古屋学院大学経済学部 気付 (小林 甲一)
Tel 052-678-4078 [dial in]2825 (小林研究室)
E-mail kobayasi@ngu.ac.jp
Home Page <http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/jepa/>

関西部会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
神戸大学大学院経済学研究科 気付 (柳川 隆)
Tel/Fax 078-803-6813 (柳川研究室)
E-mail yanagawa@econ.kobe-u.ac.jp
Home Page <http://www.econ.kobe-u.ac.jp/jepa-kansai/>

西日本部会事務局

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

福岡大学経済学部 気付 (宮本 昌典)

Tel 092-871-6631 ex. 4223 (宮本研究室)

Fax 092-864-2904 (経済学部事務局)

E-mail masanori@fukuoka-u.ac.jp

Home Page <http://www.kyusan-u.ac.jp/J/jepa/>